

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表日：令和8年4月24日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・事務所を活用し、適宜クールダウン、個別で集中できるスペースを作っている
	②	職員の配置数は適切であるか		○		・急に職員の休みが出ると対応が難しくなることがある。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		・利用児が転倒しないようなスロープがある。段差があるところにマットを敷く等している。 ・入口が狭く、慎重にすまないと入口に当たってしまう。2人1組で移動している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに広く職員が参画しているか	○			事業所内では行えているが、法人全体を通してとなると課題がある。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			様々な意見に対して職員間で検討し、改善できる部分は行っている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			毎年実施している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		保護者に対してアンケートを実施、集計して職員間で共有している。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			参加できる研修には積極的に参加している。
適切な支援	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			半年ごとに保護者と面談を実施したり、担当の相談支援員と情報交換を行ってニーズに応じた計画書を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	保護者や学校との間で適切に支援できるように連絡を取り合っているが、アセスメントツールを事業所内で使用したことはない。必要な場合は導入を検討する。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			個々の利用児に合わせた内容や季節に合わせた活動を職員間で話し合っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節ごとの製作の実施や個々の興味に合わせて工夫している。

の 提 供	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日は宿題や製作活動をメインに支援し、休日は歯磨きや昼食準備の手伝い、散歩等、個々の個別支援計画に準じて実施している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者との面談をもとに利用児に必要な課題を把握し、個別に計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			変更の確認や利用児に必要な配慮の確認を皆で共有するようにしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			送迎終了時刻や場所の違いから共有が難しいこともあるが、連絡ノートを活用牛手共有したり、職員会で共有する機会を設けている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日個別のファイルに支援内容を記録している。

関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画見直しの必要性を判断しているか	○			半年に一度モニタリングを実施し、計画の見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			宿題や製作に取り組み、共に達成感を味わったり、皆の前で帰りの会の日直を進行することで集団生活に対する自信を養う支援を行っている。長期休暇期間は地域の行事やイベントに参加するために外出する機会を取り入れている。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	○			担当者が開かれる際は関係の深い職員や看護師が参加するようにしている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			保護者から毎月下校時刻が記載された学校だよりを提出してもらったり、年間行事を提出してもらい、把握している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合、主治医等と連絡体制を整えているか	○			利用前に保護者から主治医による指示書を提出してもらい、必要なケアの内容や関係機関の連絡先を把握するようにしている。活動中に生じた疑問点は保護者を通じて主治医に確認をとってもらうようにしている。
㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			就学前に保育園や児童発達支援センターへ見学に行き、担当者や情報交換を行った。	

や 保 護 者 と の 連 携	②4	放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、支援内容等の情報を提供する等しているか	○		担当者会に参加し、情報共有を行った。	
	②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	各地域の相談支援や児童相談所によるケース検討会や当施設に訪れていただいた際に利用児についての情報を得ている。	
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	必要に応じて実施を検討していく。
	②7	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか		○	案内が届いた際は、積極的に参加している。	
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡ノートや送迎の際に学校での様子も含め利用児の1日の状況を伝えるようにしている。

保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		保護者の心配なこと（医療、進路、学校生活）は相談にのり、一緒に考えている
	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約の際に重要事項説明書を配布し、口頭での説明も行っている
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			保護者から相談を受けた際は職員間で共有を行い、対応を考えている。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	法人内でのイベント等に誘うことで交流の場になることがある。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			連絡があった際、ただちに職員間で情報を共有し、対応するようにしている。また、ヒヤリハットを作成し、職員間でも問題を共有できるようにしている。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			法人による会報や、長期休暇期間の活動日程等のお便りを配布している。日頃の療育の様子については、連絡ノートを活用している。
	③5	個人情報に十分注意しているか	○			匿名性を心がけ、記録、管理をしている。
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子どもや保護者に伝わりやすい資料作りや迅速な電話連絡を心がけている。言葉が話せない利用児には日常的に使用しているマカトン等を共有し、意思疎通している。
③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	必要に応じて今後企画していく必要がある。	

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	年に数回避難訓練、通報訓練を実施し、職員間で共有、訓練しているが、保護者への通知が十分でないところがある。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		定期的に火災や利用児の発作を想定した通報、避難訓練を療育中に実施している。消防署と連絡を取り、通報訓練もしている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		研修への参加や、資料を読み合わせている。やむを得ない身体拘束が必要な場合は、保護者に同意書を確認してもらっている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		送迎時にバギー又は車椅子で安全に乗っていただけるように U 字クッション等を用いて身体を固定することがある。実施の際は保護者に伝え、同意を得たうえで実施している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		個々の利用児が食べやすい食形態を工夫している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットの作成による職員間の共有や職員会で対応策を検討するようにしている。